

平成 18 年度 総務省 情報システム統一研修報告

「調達・外注 I コース」

玉 置 一 雄

工学研究科・工学部技術部 電子・情報技術系

はじめに

情報システム統一研修は、各省庁の情報化を担う基幹要員（国の行政機関等における行政情報システム関係業務等に従事する職員）等の育成を基本目的とする。この研修にはオンライン研修（CD-ROM 研修）と集合研修（九段研修施設で実習・演習を取り入れた実践的な研修）の 2 つの実施形態がある。

今回は、九段研修施設（総務省行政管理局）で実施された「第11回調達・外注 I コース」（2007年1月22日～1月26日）に参加し、システムに係る政府調達制度について経緯、制度見直しのための取組み状況、会計法等の知識と調達管理、外注管理に必要な知識を習得したので報告する。

図 1 は、九段合同庁舎(中央右側)、九段第二合同庁舎(中央左側)、図 2 から図 4 は、それぞれ講義室、オンライン研修室（総務省行政管理局）および九段合同庁舎 8 階からの展望である。調達・外注 I コースの日程および講義内容は表 1 のとおりである。



図 1 九段合同庁舎



図 2 講義室（総務省行政管理局）



図 3 オンライン研修室



図 4 九段合同庁舎からの展望

表1 調達・外注Iコースの日程および講義内容

日 程		講 義 内 容
第1日目 1/22(月)	午前	開講式 「コンピュータ政府調達 ―会計法を中心として―」 財務省主計局法規課 上原 学 氏
	午後	「情報システムに係る政府調達制度の見直し」 総務省行政管理局行政情報システム企画課 森 省吾 氏 調達におけるセキュリティ評価の導入 「ITセキュリティ評価及び認証制度の概要について」 経済産業省商務情報政策局情報政策課 小野塚 直人 氏 「ITセキュリティ評価及び認証制度の活用について」 情報処理推進機構(IPA)セキュリティセンター 竹内 斎之郎 氏
第2日目 1/23(火)	午前	「プロジェクト定量データの見方/使い方」 IPA ソフトウェアエンジニアリングセンター 牧内 勝哉 氏 ほか
	午後	「OSSに関する知的財産権等」 IPAオープンソースソフトウェアセンター 岡田 賢治 氏 ほか
第3日目 1/24(水)	午前	情報システムの調達管理概論 「システムの調達・開発・運営に関する主要理論」 内田技術士事務所(情報工学・総合技術管理部門) 内田 潤一 氏
	午後	「パッケージソフトウェア・ガイドラインの作成」 内田技術士事務所(情報工学・総合技術管理部門) 内田 潤一 氏
第4日目 1/25(木)	午前	請負、派遣、委任の相違の概要 「関連法規・特許と著作権・契約書例」 内田技術士事務所(情報工学・総合技術管理部門) 内田 潤一 氏
	午後	「事例紹介・演習」 内田技術士事務所(情報工学・総合技術管理部門) 内田 潤一 氏
第5日目 1/26(金)	午前	「ケーススタディ問題とグループディスカッション」 内田技術士事務所(情報工学・総合技術管理部門) 内田 潤一 氏
	午後	「発表と解説」 内田技術士事務所(情報工学・総合技術管理部門) 内田 潤一 氏 閉講式

コンピュータ政府調達（会計法）

契約の意義，契約機関，契約方式，一般競争契約，指名競争契約，随意契約，契約の締結，契約の履行等の「国の契約制度」と，協定の目的，特例政省令の概要，運用上の自主的な措置等の「政府調達協定」を受講した。

情報システムに係る政府調達制度の見直し

総合評価落札方式をはじめとする評価方式等の見直し(安値落札対策)，競争入札参加資格審査制度をはじめとする入札参加制度等の見直し(情報システムの質の向上)，調達管理の適正化，取組事項のフォローアップ，調達側の体制についての課題等を受講した。

ITセキュリティ評価・認証制度

ITセキュリティ評価及び認証制度の概要（ISO/IEC15408セキュリティ評価基準，CC承認アレンジメント[Common Criteria Recognition Arrangement]，ST[Security Target]評価・確認，評価保証レベル[EAL]）およびITセキュリティ評価及び認証制度の活用（統一基準とセキュリティ設計と評価，調達プロセスとST確認，認証製品情報）を受講した。「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」により重要なセキュリティ要件のある情報システムを開発する場合には，ST確認を行うこととセキュリティ機能の要求仕様があり総合評価落札方式により機器を購入する場合には，セキュリティ評価・認証がなされているかどうかを評価項目として活用することが要求される。図5に情報セキュリティ評価・認証制度における申請者・認定機関・認証機関・評価機関等の関係を示す。

プロジェクト定量データの見方・使い方

ソフトウェアエンジニアリングセンターの紹介，定量データの活用と見積りの勧め，発注者と受注者の協力関係，ソフトウェアの定量見積りを受講した。

オープンソースソフトウェア(OSS)に関する知的財産権

OSS概論（OSSの例・サポート・取組みの動向），OSSライセンス，中立的な調達仕様，オープンソース情報データベース（OSS iPedia）等を受講した。図6に示すようにOSSセンターでは，オープンソース情報データベースを構築して，OSSユーザに向けた幅広い情報を公開している。

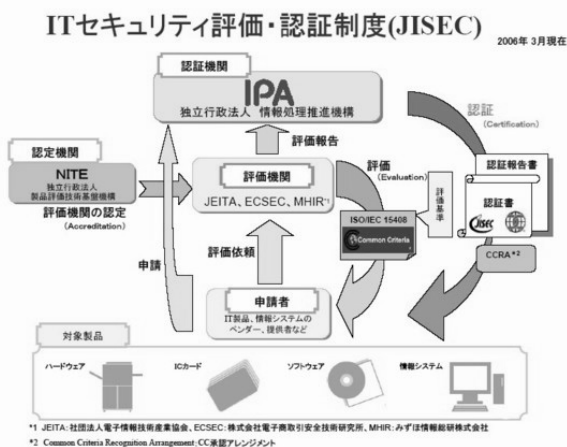


図5 ITセキュリティ評価・認証制度

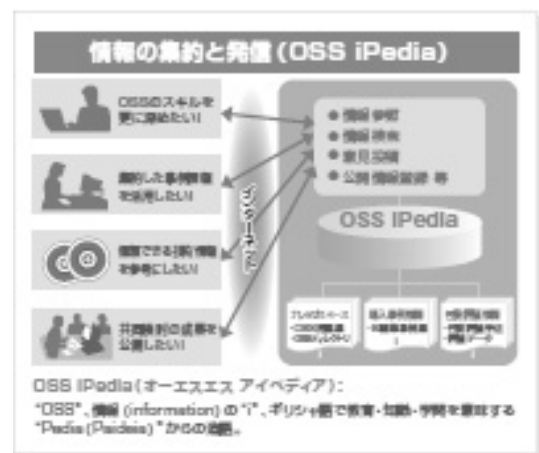


図6 オープンソース情報データベース

情報システムの調達管理概論

○ システムの調達・開発・運営に関する主要理論

業務・システム最適化計画 (EA: Enterprise Architecture) は、業務・システムを4つのレイヤー (業務, データ, アプリケーション, テクノロジー) に分けて考え, 現状 (As-Is) モデルの分析, 理想 (To-Be) モデルの創出をし, 実際のシステム構築のターゲットとなる次期モデルの計画を策定するものである.

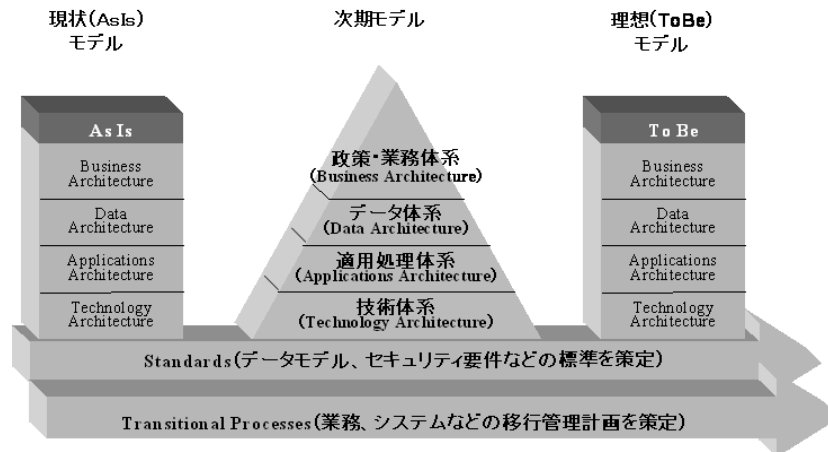


図7 業務・システム最適化計画

ソフトウェア開発の能力成熟度モデル (CMM: Capability Maturity Model for Software), エクストリームプログラミング (XP: Extreme Programming), システム開発標準SDEM90 (System Development Engineering Methodology), システム開発取引の共通フレーム SLCP-JCF98 (Software Life Cycle Processes), プロジェクトマネジメント標準PMBOK (Project Management Body Of Knowledge), 品質マネジメントシステムISO9000S, EVMS出来高管理システム (Earned Value Project Management System), サービスレベルアグリーメント (SLA: Service Level Agreement) の概要を習得した。

参考文献

1. 総務省行政管理局 情報システム統一研修「第11回調達・外注コース」配布資料 (2007).
2. 独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)ソフトウェアエンジニアリングセンター(SEC)著作・監修 「ソフトウェア開発データ白書2006」日経BP社 (2006).
3. 独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)ソフトウェアエンジニアリングセンター(SEC)編 「経営者が参画する要求品質の確保 -超上流から攻めるIT化の勘どころ- 第2版」オーム社 (2006).
4. 独立行政法人 情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター編 「ソフトウェア開発見積りガイドブック -ITユーザとベンダにおける定量的見積りの実現-」オーム社 (2006).
5. 独立行政法人 情報処理推進機構オープンソースソフトウェアセンター(OSS)編 「自治体にオープンソースソフトウェアを導入しよう! -デスクトップ編-」オーム社 (2006).
6. 独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)パンフレット (2006). (<http://www.ipa.go.jp/>)
7. 独立行政法人 情報処理推進機構ソフトウェアエンジニアリングセンター(SEC)パンフレット (<http://sec.ipa.go.jp/>)
8. 独立行政法人 情報処理推進機構オープンソースソフトウェアセンター(OSS)パンフレット
9. OSS iPedia オープンソース情報データベース (<http://ossipedia.ipa.go.jp/>)